



医学教育を含む医療者の教育に携わる人に薦めたい一冊

[評者] 大滝 純司

北海道大学大学院専任教授・医学教育推進センター／東京医科大学兼任教授・総合診療科



『臨床実践力を育てる！ 看護のためのシミュレーション教育』

阿部 幸恵（編著）

B5 頁208 2013年

定価：本体3,400円＋税

[ISBN978-4-260-01764-0] 医学書院

「看護のためのシミュレーション教育」は、琉球大の阿部幸恵教授の編集による、シミュレーション教育の解説書です。日本でも海外でも、医療関係職種の教育にシミュレーション教育が急速に普及してきている中、この領域について学ぶ指導者、教育関係者にお薦めの一冊です。

本書の第一の特長は、収められている内容の幅広さです。医療においてシミュレーションが重要になっている背景はもとより、その教育を理解する際に踏まえておくべき教育や学習に関する理論の概要が、過不足なく紹介されています。また、看護教育だけでなく、医学教育や薬学教育におけるシミュレーション教育についても、それぞれの領域の分担執筆者による解説が載せられていて、領域横断的に俯瞰することが可能な構成になっています。さらには、シナリオを作成する手順や要点、それを用いて演習などを行う際に役立つ教育技法、そしてそのような教育を実現するための環境づくりまで、丁寧に述べられています。最終章には、看護教育で実際にそのまま使える多様な

シナリオが8編、掲載されています。

第二の特長は、わかりやすさです。医療者の教育を担当し始めたばかりの方には、教育や学習に関する理論は比較的難解で、とっつきにくく感じる人が多いと思いますが、それらの要点についてわかりやすく解説されていて、参考文献のリストも充実しています。しかも、日本の医学教育のFDでしばしばみられる、ローカルルールのものではなく、一般の教育学で用いられているいくつかの理論について、それぞれを相対化しながら概観できる構成になっています。このため、多様な理論について、それぞれの位置付けや概念の特徴を整理して理解しやすくなっています。シナリオの構造や教育技法の解説でも、それらと理論との関連が記述されています。

このユニークで有用な書籍には、編著者の阿部先生のこれまでのキャリアと活動が生かされています。先生は救急部門で看護師としての経験を積まれた後、看護教育に携わられたのを機に教育に深く興味を持たれ、教育学を修めることを志し、学士、修士を経て教

育心理学の領域での研究で博士の学位を取得されています。その後、東京医科大学病院の卒後臨床研修センターで、クリニカルシミュレーションラボの管理者として勤務されました。その頃私も同じセンターで副センター長を担当しており、いろいろとお世話になりました。それからの活躍については私が紹介するまでもないでしょう。医療現場での教育の大切さと、基礎から研究レベルまでの教育学を知る阿部先生は、現在は、全国的にそして海外からも注目を集めている「おきなわクリニカルシミュレーションセンター」の副センター長として、シミュレーション教育の開発研究と実践に日々尽力されています。

医療者のシミュレーション教育について、その背景にある理論から、すぐに使えるシナリオまで、幅広い内容をわかりやすく紹介し解説しているこの本は、看護教育だけでなく、医学教育を含む医療者の教育に携わる人に、きっと参考になると思います。ぜひ一度、手にとってご覧ください。